

やましんかわら版は
山形販売店と読者をつなぐ
ミニコミ誌です

NEW

やましんかわら版

山形新聞は9月に創刊140周年を迎えます。

発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

新聞休刊日のため6月13日(月)付朝刊はお休みさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



Photo by Kazuaki Koseki

魚を捕えた瞬間をイメージしながらデザインされたランディングネット。一本糸で仕上げられた網、空目を生かした質感は驚きです。

今月の
いちばん
情報!!

溪流を愛する写真家の、 趣味の域を超えた物作り。

四季折々の表情を見せる溪流に身を委ね、無心に竿を振る。フライフィッシングの魅力に取りつかれた方は、皆さんの中にも多いのではないのでしょうか。山形市若宮にある写真館コセキの2代目、小関一成さんもその一人。釣りの腕前はもちろん、釣り人にとって背中顔である「ランディングネット」作りは卓抜したものがあります。今号ではその作品をご紹介します。

Q、ランディングネットを自作したきっかけとは。

▶釣りがほとんどしたことなかったものの、ある時、父からフライ専用の道具一式を譲ってもらい、軽い気持ちで始めてみたのです。しかし、フライフィッシングの難易度は想像以上。とにかく、難しいものでした。ただ続けるうちに、逆にそこが魅力でもあることに気づき、いつの間にかどっぷりとはまっていきました。それと同時に、知らないうちに使う道具にもこだわりたくなっていたのです。愛好家の間では「背中顔」と呼ばれるランディングネット(魚をすくう網)は、大事な道具のひとつ。当然のことですが、良いもの、素敵なものはびっくりするほど高価。こだわらなければ、また諦められなかった僕は、自分で作ってみようと思いつきました。

取り掛かかってみると、自作するのはとても難しいものでした。ネットや書籍を調べまくり、後は自分で試行錯誤。一番はじめにしたのは、木材集め。美しいランディングネットを作るために、それは欠かせないものだったのです。

Q、木材にこだわった意図は。

▶材質、強度などいろいろと理由はあるのです

が、一番にはその空目(もくめ)です。自分が欲しいものを作るには、種類によって異なる空目も合わせてデザインする必要性がありました。例えば黒柿(くろがき)。あの特徴的な黒い模様が出るのは1万本に1本とされています。僕が集めた黒柿の中には、さらに複雑な模様の孔雀木と呼ばれるものもあり、それは10万本に1本出るか出ないかだったりします。ほかにスポルテッド模様や浮き出たタマリンド、光にかざすとまるで3Dのような空目が浮き出る玉空(たまもく)など、独特な模様を持つ木材がさまざまあり、それはとても美しいのです。

納得できるものが完成したのは、作り始めてから3年目のこと。そしてそれを、フライフィッシング専門誌「フライロッダーズ」主催のランディングネットコンテストに応募しました。結果は、準グランプリ。それがきっかけとなり誌面で山形の河川をいくつか紹介したり、釣行モデルや執筆もさせていただきました。また、僕のブログを見てくれた方から、日本国内、中には米国からもランディングネットについての問い合わせもいただきました。僕の作品を認めてくださる方が予想以上に多く、とてもうれしいですし充実感を感じています。余談ですが、フライフィッシング好きで知られるYMOの高橋幸宏さんに作品を寄贈させていただく機会があり、とても喜んで使っていたのであります。

Q、ランディングネット作りの醍醐味(だいごみ)は。

▶実際に魚を捕えた瞬間を想定して作っています。水に濡れた時に、木がどんな色に変わるかを予測しながらデザインするので、思い通りに美

しいランディングネットができあがった時に、一番の醍醐味を感じます。幸いなことに山形には美しい河川がたくさんあり、そこには普通の暮らしでは知ることのできない風景が広がっています。その中で、自分が作った道具で釣りができるのだから気持ちいい。一生、作り続けて行きたいですね。—小関さんの話を聞いていると、フライフィッシング、そして釣り具作りがしてみたくくなります。読者の皆さんもぜひ、挑戦してみてくださいね。



Photo by Kazuaki Koseki

左/黒柿(くろがき)や玉空(たまもく)などの銘木がそろった小関さんの工房。
中/柄の曲線は、ミリ単位でデザインを仕上げる。釣りの道具を超えた造形美を感じます。
右/写真館コセキの2代目である小関一成さん。山形の河川に精通し、釣りの腕前はプロ顔負けです。

blog: フライと僕とフォトグラフ。
<http://blog.goo.ne.jp/isseycraft>
Facebook page「山と森と川」の形」で検索を。



かわら版編集部

〒990-2323 山形市桜田東二丁目3-8-7
(ホームページ) <http://www.yamashinhanbai.jp/>
(メール) kawaraban@yamashinhanbai.jp
読者お問い合わせ窓口
TEL.023-635-6111 (山形販売内)



モンテディオ山形を応援しよう!!	
ホームゲーム日程	
会場/NDソフトスタジアム山形	
節	対戦カードと日時
第18節	6/12(日)14:00 カマタマーレ讃岐 <small>(チケット販売中)</small>
第20節	6/26(日)18:00 水戸ホーリーホック <small>(チケット販売中)</small>
第21節	7/3(日)18:00 レノファ山口FC <small>6/11チケット発売</small>
第10節	7/6(水)19:00 ロアッソ熊本